

令和5年9月議会
決算特別委員会資料
(第2分科会)

① 【議案第121号】

令和4年度北九州市一般会計決算についてのうち所管分

② 【議案第131号】

令和4年度北九州市土地取得特別会計決算についてのうち所管分

・・・・・・・・P2～14

③ 執行の状況の点検及び評価について

・・・・・・・・P16～17

④ 令和5年度指定管理者の評価結果

・・・・・・・・P18

教育委員会

①【議案第121号】令和4年度北九州市一般会計決算についてのうち所管分
 <令和4年度歳入歳出事項別明細（一般会計）：備考欄記載頁参考>

(歳入)

単位:円

款	項	目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	翌年度繰越額	差 (収入済額-予算現額)	備 考
教育委員会所管分 合計			21,967,571,000	17,389,451,766	16,890,487,399	498,965,335	3,750,504,000	△ 5,077,083,601	
17款 使用料及び手数料			117,370,000	100,467,023	100,467,023	0	0	△ 16,902,977	事項別明細書 (26,27,30,31頁)
1 使用料			114,818,000	98,449,393	98,449,393	0	0	△ 16,368,607	
12 教育使用料			114,818,000	98,449,393	98,449,393	0	0	△ 16,368,607	
2 手数料			2,552,000	2,017,630	2,017,630	0	0	△ 534,370	
10 教育手数料			2,552,000	2,017,630	2,017,630	0	0	△ 534,370	
18款 国庫支出金			13,565,256,000	12,831,418,230	12,831,418,230	0	915,904,000	△ 733,837,770	事項別明細書(32~39頁)
1 国庫負担金			10,157,641,000	10,099,680,381	10,099,680,381	0	0	△ 57,960,619	
4 教育費国庫負担金			10,149,555,000	10,092,840,381	10,092,840,381	0	0	△ 56,714,619	
5 災害復旧費 国庫負担金			8,086,000	6,840,000	6,840,000	0	0	△ 1,246,000	
2 国庫補助金			3,399,664,000	2,724,371,343	2,724,371,343	0	915,904,000	△ 675,292,657	
12 教育費国庫補助金			3,399,664,000	2,724,371,343	2,724,371,343	0	915,904,000	△ 675,292,657	
3 委託金			7,951,000	7,366,506	7,366,506	0	0	△ 584,494	
7 教育費委託金			7,951,000	7,366,506	7,366,506	0	0	△ 584,494	
19款 県支出金			4,982,000	5,010,728	5,010,728	0	0	28,728	事項別明細書(42~45頁)
2 県補助金			3,762,000	4,135,000	4,135,000	0	0	373,000	
9 教育費県補助金			3,762,000	4,135,000	4,135,000	0	0	373,000	
3 委託金			1,220,000	875,728	875,728	0	0	△ 344,272	
9 教育費委託金			1,220,000	875,728	875,728	0	0	△ 344,272	
20款 財産収入			10,979,000	8,947,770	8,947,770	0	0	△ 2,031,230	事項別明細書(44~47頁)
1 財産運用収入			7,014,000	5,562,136	5,562,136	0	0	△ 1,451,864	
1 財産貸付収入			6,932,000	5,528,722	5,528,722	0	0	△ 1,403,278	
3 基金運用収入			12,000	6,414	6,414	0	0	△ 5,586	
5 特許権等運用収入			70,000	27,000	27,000	0	0	△ 43,000	
2 財産売払収入			3,965,000	3,385,634	3,385,634	0	0	△ 579,366	
2 物品売払収入			3,965,000	3,385,634	3,385,634	0	0	△ 579,366	

(歳入)

単位:円

款	項	目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	翌年度繰越額	差 (収入済額-予算現額)	備 考
21	款	寄附金	14,700,000	2,410,000	2,410,000	0	0	△ 12,290,000	事項別明細書(48,49頁)
	1	寄附金	14,700,000	2,410,000	2,410,000	0	0	△ 12,290,000	
		5 教育費寄附金	14,700,000	2,410,000	2,410,000	0	0	△ 12,290,000	
22	款	繰入金	99,400,000	70,534,474	70,534,474	0	0	△ 28,865,526	事項別明細書(50~53頁)
	1	特別会計繰入金	2,000,000	1,646,640	1,646,640	0	0	△ 353,360	
		3 市民太陽光発電所 特別会計繰入金	2,000,000	1,646,640	1,646,640	0	0	△ 353,360	
	2	基金繰入金	97,400,000	68,887,834	68,887,834	0	0	△ 28,512,166	
		14 学校応援基金 繰入金	15,400,000	13,630,834	13,630,834	0	0	△ 1,769,166	
		17 SDGs未来基金 繰入金	82,000,000	55,257,000	55,257,000	0	0	△ 26,743,000	
24	款	諸収入	490,584,000	977,563,541	478,599,174	498,965,335	0	△ 11,984,826	事項別明細書 (54,55,58,59,62~65頁)
	1	延滞金加算金及び過料	5,638,000	3,322,653	3,322,653	0	0	△ 2,315,347	
		1 延滞金	5,638,000	3,322,653	3,322,653	0	0	△ 2,315,347	
	3	貸付金元利収入	409,233,000	883,785,293	385,973,426	497,811,867	0	△ 23,259,574	
		10 教育費貸付金 元利収入	409,233,000	883,785,293	385,973,426	497,811,867	0	△ 23,259,574	
	6	雑入	75,713,000	90,455,595	89,303,095	1,153,468	0	13,590,095	
		4 雑入	75,713,000	90,455,595	89,303,095	1,153,468	0	13,590,095	
25	款	市債	7,664,300,000	3,393,100,000	3,393,100,000	0	2,834,600,000	△ 4,271,200,000	事項別明細書(66~69頁)
	1	市債	7,664,300,000	3,393,100,000	3,393,100,000	0	2,834,600,000	△ 4,271,200,000	
		12 教育債	7,660,300,000	3,389,700,000	3,389,700,000	0	2,834,600,000	△ 4,270,600,000	
		13 災害復旧債	4,000,000	3,400,000	3,400,000	0	0	△ 600,000	

(歳出)

単位:円

款項目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	差(不用額)	備 考
教育委員会所管分 合計	78,268,881,000	71,213,533,528	3,789,140,000	3,266,207,472	
13款 教育費 計	78,256,751,000	71,203,273,828	3,789,140,000	3,264,337,172	
1 教育職員費	51,752,441,000	50,421,423,093	0	1,331,017,907	事項別明細書(196,197頁)
1 職員費	51,752,441,000	50,421,423,093	0	1,331,017,907	・義務教育諸学校等職員給与費 44,507,003千円 ・教育委員会職員費 5,914,420千円
2 教育総務費	1,659,087,000	1,454,145,439	0	204,941,561	事項別明細書(196~203頁)
1 教育委員会費	17,316,000	17,263,490	0	52,510	・教育委員(5人)報酬 16,440千円
2 事務局費	214,424,000	179,785,332	0	34,638,668	・私学振興経費 67,933千円 ・高等理容美容学校の経営継承に伴う学費差額補助金 37,500千円
3 奨学費	268,976,000	182,874,909	0	86,101,091	・奨学資金貸付金 164,090千円
4 教職員人事費	854,978,000	804,268,183	0	50,709,817	・教職員給与支給関係事務経費 401,312千円
5 寄宿舎費	12,690,000	11,580,766	0	1,109,234	・学校寄宿舎管理運営経費 11,581千円
6 教育センター費	290,703,000	258,372,759	0	32,330,241	・特別支援教育相談支援事業経費 41,499千円
3 小学校費	12,140,559,000	9,383,344,713	1,958,350,000	798,864,287	事項別明細書(202~207頁)
1 学校管理費	4,951,985,000	4,817,635,481	350,000	133,999,519	・学校給食調理業務民間委託事業 1,277,811千円 ・標準運営費 990,162千円
2 教育振興費	1,022,766,000	934,140,700	0	88,625,300	・就学援助経費 527,454千円
3 学校整備費	6,165,808,000	3,631,568,532	1,958,000,000	576,239,468	・大規模改修事業 2,053,691千円 ・施設保守点検委託等経費 386,262千円
4 中学校費	7,982,811,000	6,046,690,740	1,364,202,000	571,918,260	事項別明細書(206~211頁)
1 学校管理費	2,700,062,000	2,588,381,444	0	111,680,556	・学校給食調理業務民間委託事業 655,496千円 ・標準運営費 572,746千円
2 教育振興費	1,567,632,000	1,419,998,452	0	147,633,548	・就学援助経費 531,357千円
3 学校整備費	3,715,117,000	2,038,310,844	1,364,202,000	312,604,156	・大規模改修事業 1,115,954千円 ・思永中PFI事業 103,668千円

(歳出)

単位:円

款項目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	差(不用額)	備 考
5 高等学校費	383,889,000	214,541,298	87,406,000	81,941,702	事項別明細書(210～213頁)
1 全日制高等学校管理費	125,544,000	113,205,666	5,400,000	6,938,334	・学校管理運営経費 42,760千円 ・学生寮管理運営経費 33,992千円
2 教育振興費	9,627,000	7,226,295	0	2,400,705	・外国語指導助手配置事業経費 5,336千円
3 学校整備費	248,718,000	94,109,337	82,006,000	72,602,663	・学校トイレ整備事業 84,155千円 ・校舎改修費 6,414千円
6 特別支援学校費	1,919,166,000	1,488,596,625	355,509,000	75,060,375	事項別明細書(212～215頁)
1 学校管理費	865,287,000	833,113,439	5,775,000	26,398,561	・スクールバス運行経費 543,398千円
2 教育振興費	75,033,000	50,030,258	0	25,002,742	・医療的ケア児支援事業 23,070千円
3 学校整備費	978,846,000	605,452,928	349,734,000	23,659,072	・小池特別支援学校整備事業 300,594千円 ・不足教室等対策事業 99,881千円
7 幼稚園費	48,063,000	40,791,069	0	7,271,931	事項別明細書(214～217頁)
1 幼稚園管理費	30,542,000	26,362,731	0	4,179,269	・管理関係経費 11,040千円
2 教育振興費	2,108,000	1,464,311	0	643,689	・心の教育推進事業経費 1,216千円
3 幼稚園整備費	15,413,000	12,964,027	0	2,448,973	・園舎改修費 4,398千円
8 専修学校費	14,948,000	9,245,616	0	5,702,384	事項別明細書(216～219頁)
1 専修学校費	14,948,000	9,245,616	0	5,702,384	・管理運営費 6,828千円
9 社会教育費	1,287,926,000	1,185,878,956	23,673,000	78,374,044	事項別明細書(218～221頁)
1 社会教育総務費	118,479,000	73,685,707	0	44,793,293	・学校施設開放経費 26,843千円
2 図書館費	1,163,483,000	1,106,402,013	23,673,000	33,407,987	・図書館指定管理制度導入の委託料 397,956千円 ・黒崎副都心整備事業(図書館)経費 178,858千円
3 視聴覚センター費	5,964,000	5,791,236	0	172,764	・管理運営費 4,580千円
10 保健体育費	1,057,978,000	958,288,738	0	99,689,262	事項別明細書(220～223頁)
1 学校保健費	1,057,978,000	958,288,738	0	99,689,262	・学校給食食材価格高騰対応事業経費 283,917千円 ・学校医経費 273,891千円
11 繰出金	9,883,000	327,541	0	9,555,459	事項別明細書(222,223頁)
1 繰出金	9,883,000	327,541	0	9,555,459	・土地取得特別会計への繰出金 328千円
14款 災害復旧費 計	12,130,000	10,259,700	0	1,870,300	
6 教育施設災害復旧費	12,130,000	10,259,700	0	1,870,300	事項別明細書(224,225頁)
1 学校施設災害復旧費	12,130,000	10,259,700	0	1,870,300	・災害復旧事業 10,260千円

②【議案第131号】令和4年度北九州市土地取得特別会計決算についてのうち所管分
 <令和4年度歳入歳出事項別明細（土地取得特別会計）：備考欄記載頁 参考>

(歳入)

単位:円

款	項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	翌年度繰越額	差 (収入済額-予算現額)	備 考
教育委員会所管分合計		9,883,000	327,541	327,541	0	0	△ 9,555,459	
2款 繰入金		9,883,000	327,541	327,541	0	0	△ 9,555,459	事項別明細書(330,331頁)
1 繰入金		9,883,000	327,541	327,541	0	0	△ 9,555,459	
	1 一般会計繰入金	9,883,000	327,541	327,541	0	0	△ 9,555,459	・先行取得した土地購入費の 利子分(小倉北特別支援学校 等整備事業) 328千円

(歳出)

単位:円

款	項目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	差(不用額)	備 考
教育委員会所管分 合計		9,883,000	327,541	0	9,555,459	
1款 土地先行取得費 計		9,883,000	327,541	0	9,555,459	
	2 繰出金	9,883,000	327,541	0	9,555,459	事項別明細書(332,333頁)
	1 繰出金	9,883,000	327,541	0	9,555,459	・先行取得した土地購入費の利子分 (小倉北特別支援学校等整備事業) 328千円

令和4年度決算 教育委員会 主要施策

I 時代を切り拓く力の育成

1 子どもひまわり学習塾事業

76,286千円

児童生徒の主体的な学習習慣の定着等を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を小学校93校、中学校62校で実施した。

2 学校における読書活動の推進

298,557千円

「北九州市子ども読書活動推進条例」及び「北九州市子ども読書プラン」に基づき、すべての子どもが楽しく自主的に読書活動を行うことができる環境を整えた。

また、学校図書館職員を全中学校区及び特別支援学校に継続して配置し、学校における読書活動を推進した。その際、「子ども図書館」が拠点となり、学校と市立図書館との連携を強化した。

3 外国語教育の推進

354,088千円

外国語教育を通じて、他者とのコミュニケーション能力の素地や基礎を養うため、ALT（外国語指導助手）の効果的な配置等を行った。

小学校においては、英語に堪能で専門的な知識を有した日本人ALTを配置するほか、「話すこと」の力を育むため、一部の学校で試行的にオンライン英会話学習を実施した。

中学校においては、イングリッシュコンテスト等を開催することにより、自ら発信し、世界で活躍、貢献できるコミュニケーション能力の育成を図った。

4 Kitakyushu Global Gateway体験学習事業

55,258千円

英語学習意欲の向上のきっかけとするため、市立小・中・特別支援学校の児童生徒が、令和4年春にオープンした体験型英語教育施設「Kitakyushu Global Gateway」を活用した体験学習を実施した。

5 SDGs教育推進事業

5,237千円

SDGs推進校を指定（24校）し、特色ある取組及び実践研究を行うとともに、その成果等を取りまとめて全市に発信し、SDGsの視点を踏まえた教育の拡大・充実を図った。

また、新学習指導要領に示されている「持続可能な社会を創る担い手」の育成やシビックプライドの醸成を図るため、引き続きSDGsの視点を踏まえた地域教材を作成し、教科等の学習で活用した。

6 小中一貫教育推進事業

1,019千円

本市の義務教育9年間を通じた教育活動を充実させ、これまでの小中一貫・連携教育をさらに推進するため、令和3年8月に改訂した「北九州市小中一貫・連携教育基本方針」を踏まえ、モデル校での実践や先行事例の研究を実施した。

7 児童う歯予防対策

35,512千円

「学校における歯と口の健康づくり推進計画」に基づき、従来実施していた「フッ化物塗布」に加え、モデル34校における「フッ化物洗口」や、歯科衛生士による歯みがき指導を実施し、う歯予防対策の強化に努めた。

8 小池特別支援学校整備事業

300,594千円

西部地域における知的障害児の増加への対応及び老朽化した校舎・運動場の狭あい化等の課題を解消するため、小池特別支援学校の校舎の一部解体工事を実施し、第2期建築工事及び既存校舎の大規模改修工事に着手した。

9 小倉総合特別支援学校整備事業

98,923千円

小倉総合特別支援学校児童生徒の教育環境の充実を図るため、保健福祉局が実施する小倉総合特別支援学校A棟解体工事後の、B棟開口部の閉塞工事に着手した。

10 小倉北特別支援学校等整備事業

一般会計分 28,884千円

特別会計分 328千円

（合計 29,212千円）

校舎等の老朽化及び教室不足等の狭あい化等の課題を解消するため、小倉北特別支援学校及び北九州中央高等学園の移転建替えに係る造成設計を実施し、建築実施設計に着手した。

11 医療的ケア児支援北九州方式構築モデル事業

7,988 千円

医療的ケア児支援法の施行（令和3年9月）を踏まえ、児童生徒が安心して学校生活を送れるようにするとともに、保護者の負担軽減を図るため、医療機関との連携強化及び学校生活における環境整備を行う医療的ケア学校コーディネーターや、特別支援学校配置看護師を2名増員配置した。

12 医療的ケア児支援事業

8,790 千円

市内の学校に通う医療的ケア児の支援体制のさらなる推進のため、特別支援学校及び小学校の学校配置看護師の業務支援を行う看護師を派遣した。

また、スクールバスの利用が困難な医療的ケア児に対して、看護師が同乗する福祉タクシーによる通学支援を試行的に実施した。

13 スクールバス運行委託事業（コロナウイルス対策増車）

157,237 千円

特別支援学校のスクールバスでの新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、児童生徒の座席の間隔を空けて運行できるよう、9台のバス増車を行った。

II 働きがいのある学校づくり

14 ICTを活用した指導力育成を目指す教員の資質能力向上事業

1,885 千円

教育の情報化の加速及び教育DXを見据え、研修や実践を通してICTを活用した指導力の育成を図った。

また、オンライン型研修を充実させ、キャリアステージに応じた研修を体系的に整備し、すべての教員の資質・能力の向上を図った。

15 学校支援のための講師等配置事業

441,756 千円

学力向上や長期欠席・不登校対応など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を円滑に進めていくため、講師等を配置した。

16 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置事業

284,112 千円

学校現場における業務改善の一環として、教員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を確保するため、教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置拡充を行った。＜令和3年度：138名 → 令和4年度：171名 33名増＞

17 部活動指導員の配置

16,719 千円

教員の負担軽減と部活動の振興を図るため、部活動の顧問教員をサポートする「部活動外部講師」や、顧問教員に代わって単独での指導や引率等の業務を行う「部活動指導員」を配置するとともに、地域の人材の一層の活用を図るため、部活動指導のNPO法人への委託を実施した。

Ⅲ 安心な学びの場づくり

18 不登校等総合支援事業 ～不登校等支援センター設置事業～

10,675 千円

不登校児童生徒の社会的自立に向けて、子ども・保護者等に寄り添った教育支援室や関係機関との連携強化を図るため、「不登校等支援センター」を新たに設置し、「未来へのとびらオンライン授業」を拡充するなど、子どもたちの状況に応じた多様な学びの機会の確保に努めた。

19 SDGs達成のための次世代型教育推進事業

2,777 千円

SDGs達成のための視点に基づく「誰一人取り残さない集団と個を意識した子どもへのアプローチ」として学習面・社会面・身体面の3方面のコグトレ（認知トレーニング）を推進することで、教員の「子ども理解」を深め、個に応じた指導、授業改善につながった。

また、コグトレを通して、子どもが自己の学び方・考え方を意識することで、さらなる成長を促した。

20 SNS相談事業

14,168 千円

いじめを含む様々な悩みを抱える児童生徒に対して、コミュニケーション手段としてSNSが普及していることを踏まえ、SNS等を活用した相談体制を構築した。

また、スマートフォンを通じてのSNSアプリ等で発生する問題の深刻化・複雑化を未然に防止する観点から、教職員の研修・各家庭に向けた啓発を実施した。

21 「チーム学校」運営・推進事業

【スクールカウンセラー活用による問題行動等防止】

74,249 千円

長期欠席（不登校）の児童生徒への対応や、いじめ・自殺などの諸問題の未然防止を図るため、「心の専門家」であるスクールカウンセラーを配置した。

【スクールソーシャルワーカー活用事業の充実】

78,133 千円

貧困や虐待・不登校等への対応などを含め、児童生徒の問題行動等の背景にある家庭等の問題に対して、関係機関との連携を図りながら支援を行うため、「福祉の専門家」であるスクールソーシャルワーカーを配置した。

【スクールロイヤーの活用】

3,300 千円

生徒指導上の諸課題等に対する相談対応や学校に出向いて法的助言を行うスクールロイヤーの活用を図ることで、子どもが安心して学校生活を送ることのできる環境を整えた。

22 感染症対策のための衛生環境整備事業

26,202 千円

市立幼稚園・小・中・特別支援学校・高等学校・専修学校における基本的な感染症対策をさらに強化・徹底する上で継続的に必要となる手洗い用石けんや手指用消毒液の追加購入を行い、感染拡大防止に努めた。

23 給食食材価格高騰対応事業

（6月補正）283,917 千円

子育て世帯に対する支援として、物価高騰に係る市立小・中・特別支援学校の給食費値上げ相当分を補助し、保護者の負担軽減を図った。

24 学校給食異物混入対策事業

（12月補正）31,070 千円

市立小・中・特別支援学校の学校給食における異物混入対策として、「給食調理機械の一斉点検」及び「給食調理器具の更新」を実施した。

IV 市民総ぐるみでの支援

25 コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業

24,036 千円

家庭・地域・学校が連携した子どもの体験活動・交流事業等を実施するとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携協働するコミュニティ・スクールや地域学校協働活動事業等に取り組んだ。

26 子どもひまわり学習塾事業【再掲】

76,286 千円

児童生徒の主体的な学習習慣の定着等を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を小学校93校、中学校62校で実施した。

27 公立夜間中学校設置検討事業

606 千円

市立夜間中学校の設置に向けた検討のため、有識者などによる「北九州市公立夜間中学校を考える会議」を開催し、令和6年4月の開校を目指す「北九州市立夜間中学校設置基本計画」を策定した。

V 未来を見据えた環境整備

28 ICT活用支援事業

101,996 千円

文部科学省が掲げる「GIGAスクール構想」により実現される新たな学びに対応するため、広域的に学校のICT活用をサポートするGIGAスクール運営支援センターを設置し、授業や学習活動における効果的なICT活用を推進した。

29 GIGAスクール構想関係経費

39,821 千円

GIGAスクール構想の実現に伴う関係経費として、学校からのインターネット接続に係る通信経費のほか、教科書や資料などの著作物をオンライン授業で配信するため、授業目的公衆送信補償金制度を活用し、文化庁長官の指定管理団体（SARTRAS・サートラス）への補償金を負担した。

30 幼児教育の質の向上に向けた推進事業

2,739 千円

公立幼稚園廃止（令和7年3月末）後も、引き続き、本市の幼児教育水準の維持向上を図るため、令和5年4月の幼児教育センターの設置に向け、推進体制を構築した。

31 学校施設老朽化対策事業

3,769,512 千円

安全で安心な教育環境を整備するため、平成30年3月に策定した「北九州市学校施設長寿命化計画」に基づき、小学校6校及び中学校2校の大規模改修（長寿命化改修）、小学校4校の外壁改修などの老朽化対策や安全対策を実施した。

32 学校トイレ整備事業

310,721 千円

児童生徒が利用する学校トイレの洋式化を推進するため、改修工事を計画的に実施した。〈令和4年度：小学校10校、高等学校1校〉

33 北九州市立高等学校の魅力向上推進事業

3,042 千円

令和3年度に策定した「北九州市における後期中等教育機関の今後の方針について」に基づき、北九州市立高等学校の教育内容の更なる充実を図るため、学科構成の変更など、今後の在り方について検討した。

VI 図書館に関する事業

34 八幡図書館折尾分館運営・移転事業

182,860 千円

折尾地区総合整備事業により仮移転していた折尾分館について、本移転後、令和4年7月1日から新施設での図書館業務を開始した。

VII 新型コロナウイルス感染症対策関連経費

市立学校における新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大防止対策として、密閉・密集・密接を避け、すべての子どもたちの学びを保障できる環境を実現するため様々な事業を行った。

(主な事業)

■ スクールバス運行委託事業（コロナウイルス対策増車） 【再掲】

157,237 千円

特別支援学校のスクールバスでの新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、児童生徒の座席の間隔を空けて運行できるよう、9台のバス増車を行った。

■ **管理関係経費（新型コロナウイルス感染症等に伴う光熱水費）（小・中・特支）**

68,400 千円

新型コロナウイルス感染症対策のため、空調使用時に常時換気を実施したことによって増加した光熱水費を負担した。

■ **教育用タブレット端末整備（小・中・特支）**

485,562 千円

これからの子どもたちに必要な「情報活用能力」を育成するため、ICTを活用した学習環境整備の一環として、教育用タブレット端末を整備した。

このページは空白です

③北九州市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
 <報告第27号 参照>

ビジョン (vision)		ミッション (mission)		評価		ミッションに基づいた重点的な取組(施策)
本市学校教育の目標		本市が一丸となって取り組まなければならないミッション		R3年度	R4年度	
<p>【目指す子どもの姿】◎自立し思いやりの心をもつ子ども／◎新たな価値創造に挑戦する子ども</p> <p>◎本市に誇りをもつ子ども(シビックプライド)</p>	<p>【目標達成に向けた取組方針】学校・教職員と教育委員会は互いにコミュニケーションを図り、目標を共有し、一体となって取組を進める。</p>	《mission1》時代を切り拓く力の育成 新学習指導要領に対応し、学校マネジメントの充実を図るとともに、児童生徒が本市に誇りを持ち、新たな時代を切り拓く力を育成する。	B	B	1 確かな学力の育成	
			—	C	2 健やかな体の育成	
			A	A	3 豊かな心の育成	
			C	C	4 特別支援教育の推進	
		《mission2》働きがいのある学校づくり 大量退職・採用時代に対応し、業務改善を一層推進するとともに、教員の確保と育成を進める。	A	B	5 大量退職・採用時代における教員の資質向上	
			A	A	6 学校における業務改善の推進	
		《mission3》安心な学びの場づくり 早期化、複雑化する生徒指導上の課題や子どもの安全に対応し、支援体制を構築するとともに、防災・減災教育を進める。	C	C	7 長期欠席、いじめ等へのきめ細かな対応	
			C	C	8 児童生徒等の安全の確保	
		《mission4》市民総ぐるみでの支援 社会的・経済的な課題に対応し、早期からのセーフティネットを構築し、市民総ぐるみで子どもたちを支援する。	B	B	9 家庭・地域・学校の連携	
			B	B	10 社会的・経済的な課題への対応	
		《mission5》未来を見据えた環境整備 学校施設老朽化に計画的に対応しつつ、ICTなど先端的な教育環境を整備し、Society5.0時代における教育とデジタルの融合に挑戦する。	B	B	11 教育環境の整備	
			C	C	12 学校施設の整備	

アクション (action)

主な取組	各施策を推進するための個別計画・方針等
(1)学校マネジメントの充実 (2)学力の向上 (3)学校における読書活動の推進 (4)英語教育の推進 (5)本市の特色を活かした教育活動の推進	北九州市子ども読書プラン (第4次計画)
(1)体力の向上 (2)学校における食育の推進 (3)健康の保持 (4)スポーツに親しむ機会の充実	北九州市学力・体力向上アクションプラン 第2ステージ(延長版) 《参考》他部局の分野別計画 北九州市スポーツ振興計画
(1)道徳教育・文化芸術に触れる機会の充実 (2)人権教育の推進	《参考》他部局の分野別計画 北九州市文化振興計画
(1)相談支援体制の整備 (2)特別支援教育を推進する体制の充実 (3)就労支援 (4)理解促進	(改訂版)北九州市特別支援教育推進プラン
(1)人材の確保 (2)人材の育成・資質の向上 (3)女性活躍推進	北九州市教育委員会人材育成基本方針 《参考》他部局の分野別計画 第4次北九州市男女共同参画基本計画
(1)業務改善の推進 (2)適正な部活動の推進	学校における業務改善プログラム(第3版)
(1)長期欠席(不登校)への対策 (2)いじめ等問題行動への対応 (3)専門人材の配置・活用	北九州市いじめ防止基本方針
(1)防災・減災教育の推進 (2)重篤な事故の防止 (3)食物アレルギー事故及び感染症等の防止	《参考》各学校で策定 学校安全計画
(1)家庭との連携 (2)地域との連携	《参考》他部局の分野別計画 北九州市生涯学習推進計画
(1)子どもの貧困など経済的な課題の対応 (2)社会的な課題への対応 (3)早期からの生活習慣の確立と小学校教育への円滑な接続	《参考》他部局の分野別計画 元気発進！子どもプラン(第3次計画)
(1)教育の情報化推進 (2)学校規模の適正化	北九州市立小・中学校の学校規模適正化の進め方
(1)安全で快適な学校施設の整備	北九州市学校施設長寿命化計画

教職員支援プロジェクト「一人にさせない」チーム学校体制づくり

④ 令和5年度指定管理者の評価結果について

指定管理者の管理運営に対する評価一覧

評価別	指定管理者	施設概要	指定期間	評価期間	評価ランク (評価点)
多段階評価 (選定前)	(株)日本施設協会	若松図書館 (1分館を含む)	H31.4.1 ～ R6.3.31	H31.4.1 ～ R5.3.31	D※ (66点)
多段階評価 (中間)	日本施設協会・ 図書館流通センタ ー共同事業体	小倉南図書館 (1分館を含む)	R4.4.1 ～ R9.3.31	R4.4.1 ～ R5.3.31	B (72点)
	(株)黒崎コミュニ ティサービス	八幡西図書館 (黒崎文化ホール)	H24.7.1 ～ R9.6.30	R4.4.1 ～ R5.3.31	B (70点)

※ 若松図書館の指定管理者による不正行為が発覚し、最低限、達成すべき基準である「平等利用、安全対策、危機管理体制など」の評価項目が基準を満たしていなかった(評価レベル2)ため、北九州市の指定管理者評価マニュアルに基づき、評価ランクをDとした。

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)